

シスター・サラ

本当に一人で  
大丈夫ですか

神父様！



ご心配には  
及びません

二日で  
戻りますので

私はサラ  
この教会でシスターとして  
暮らしています

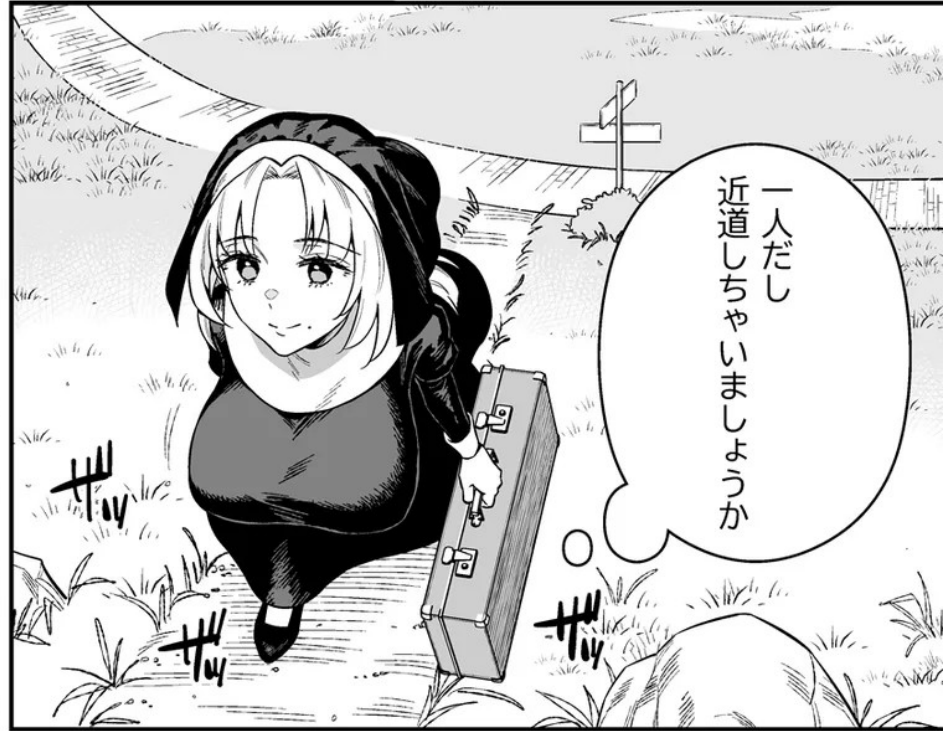
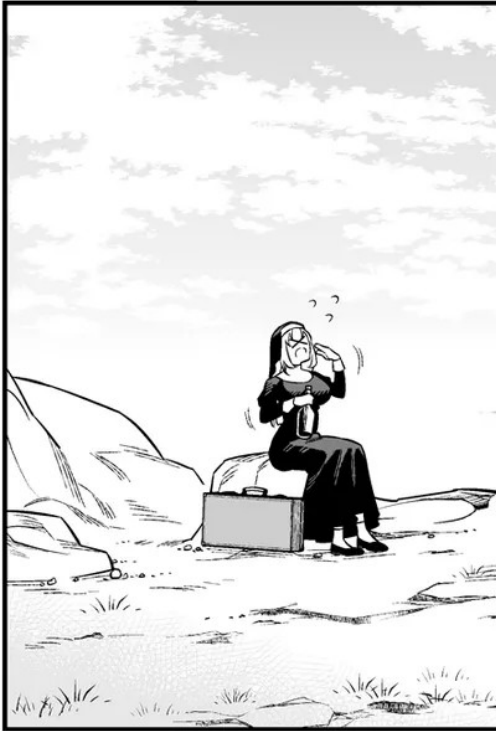
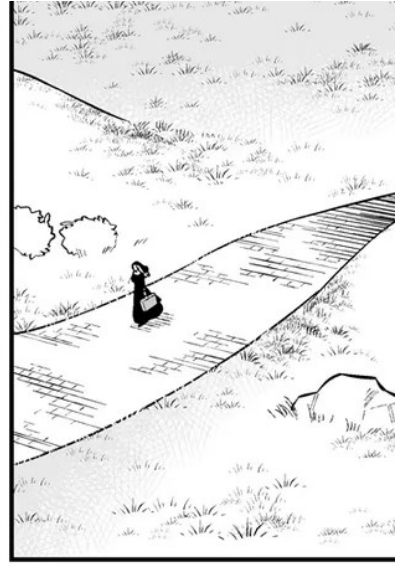
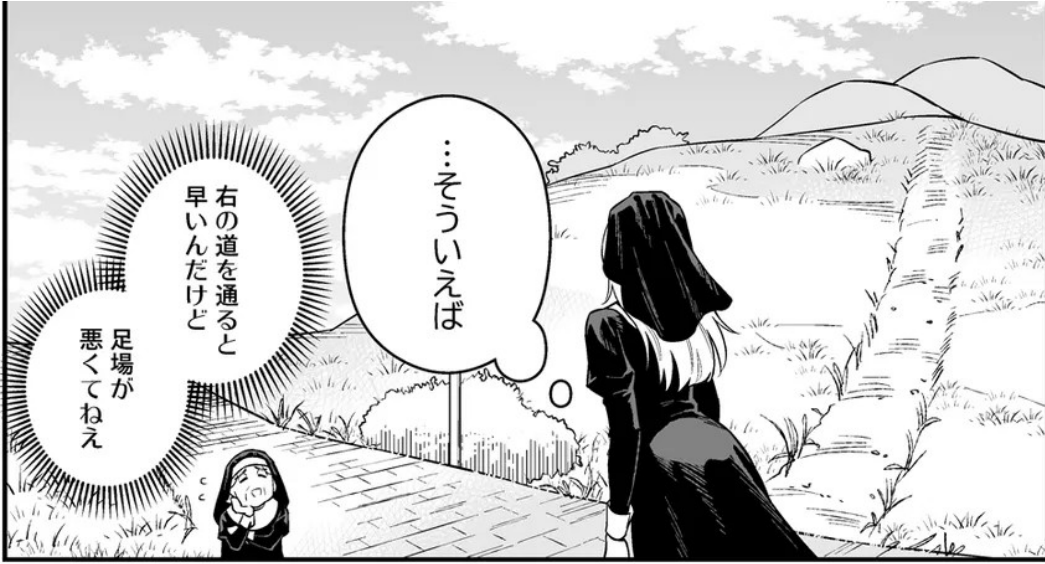
以前は他の  
シスターと一緒にいたが  
足を悪くされてしまい

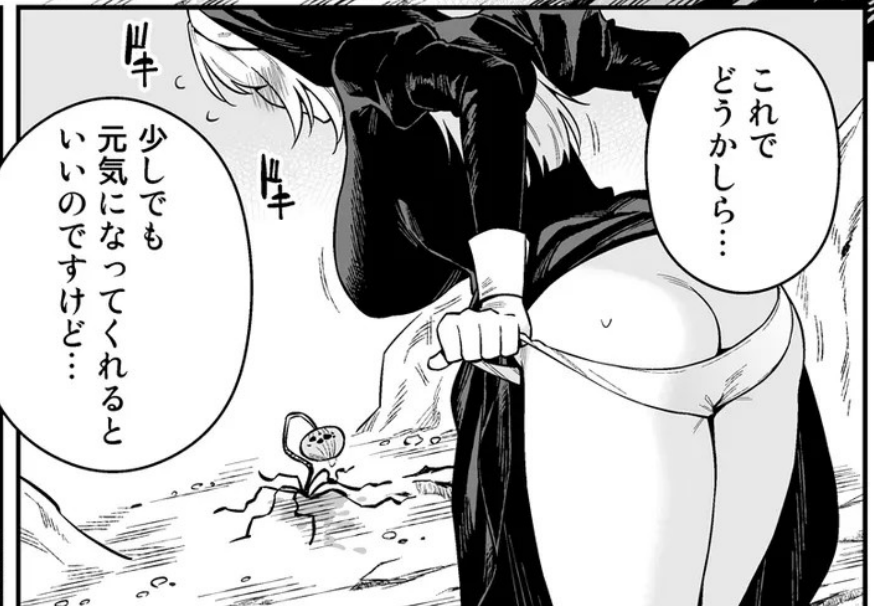
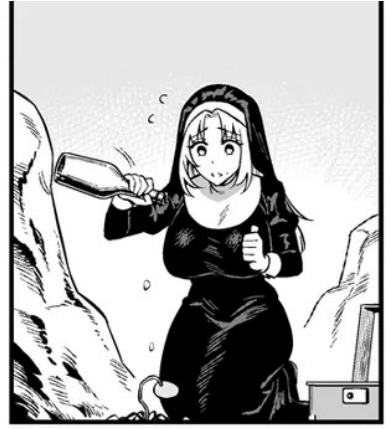
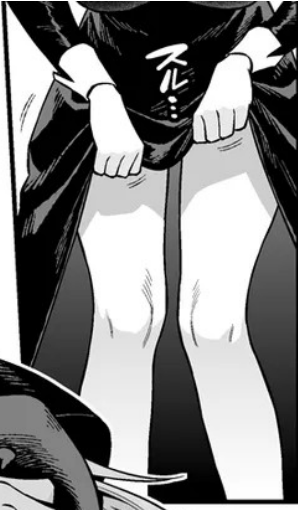
初めて一人で  
伺うことになりました

今日は  
隣村の子供たちに  
勉強を教えに行く日です

膝がねえ  
どうにもねえ



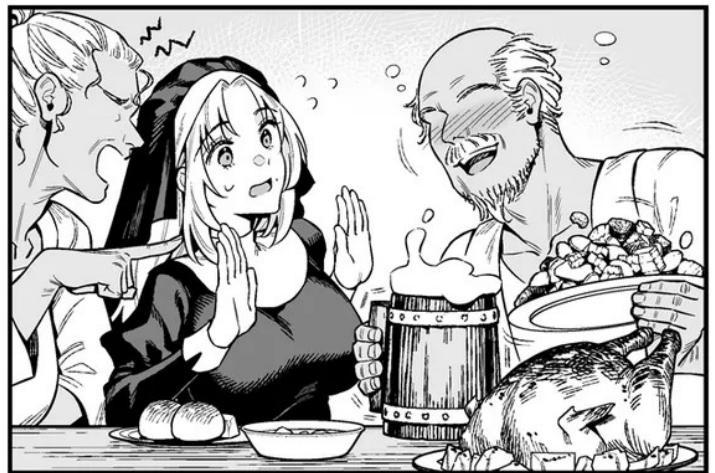
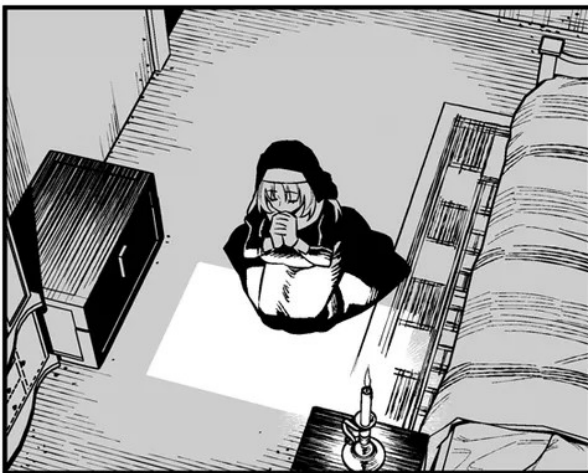


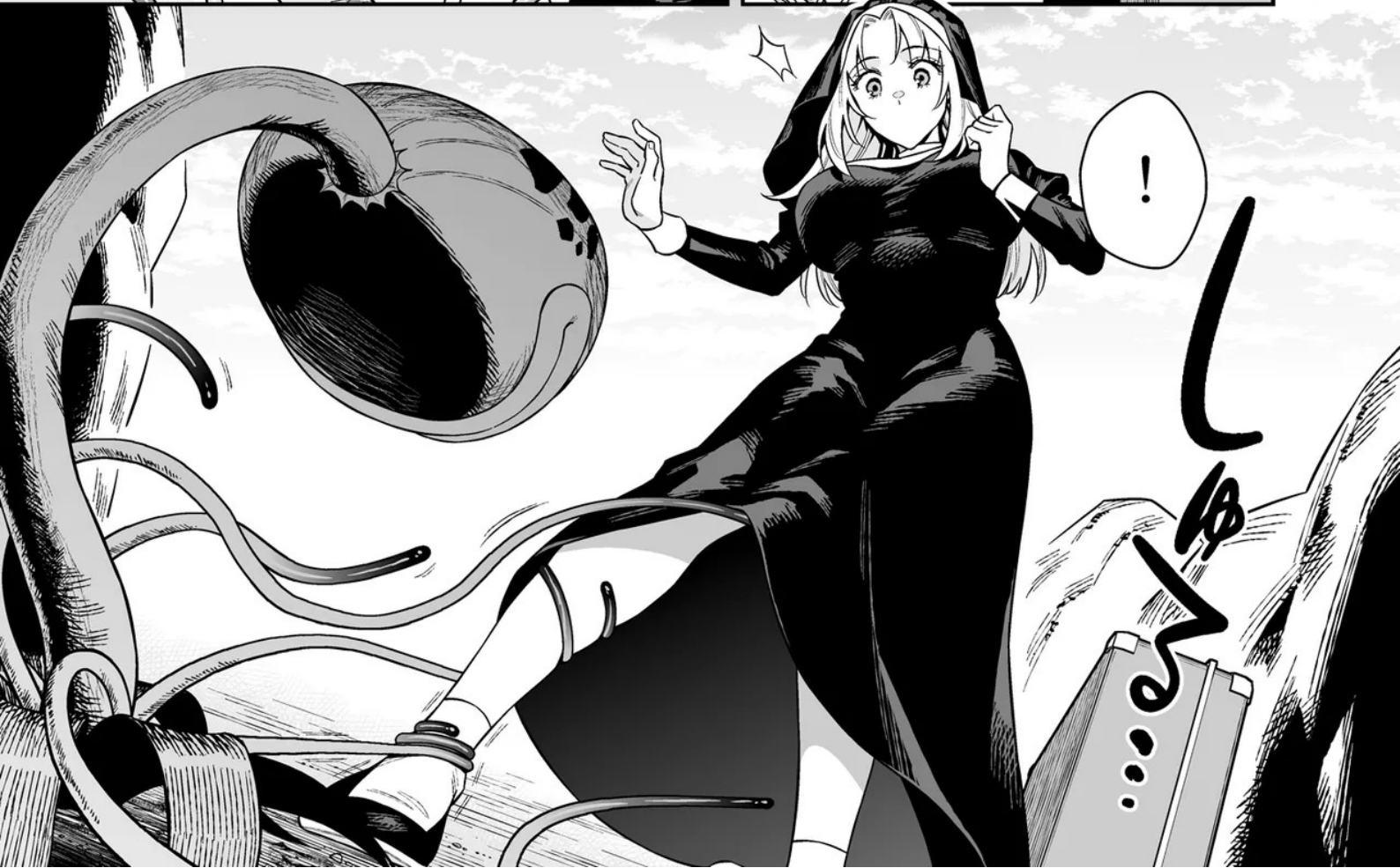


これで  
どうかしら...

少しでも  
元気になってくれると  
いいんですけど...









私  
水を持って  
きました

待って  
ください！



み水じゃ  
だめなんですか…？

そんな…

んんんん…

んんんん…

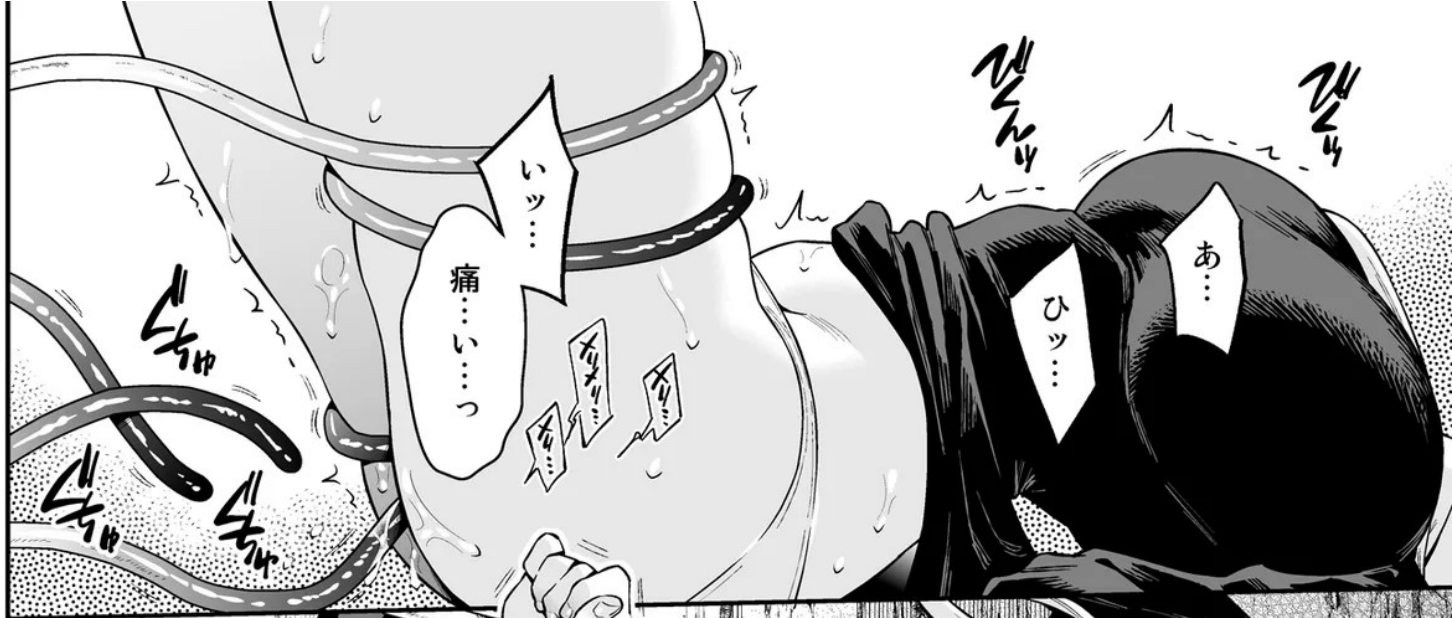
んんんん…

んんんん…











ああ…神よ…

わたしは…

このまま  
死ぬのでしょうか…



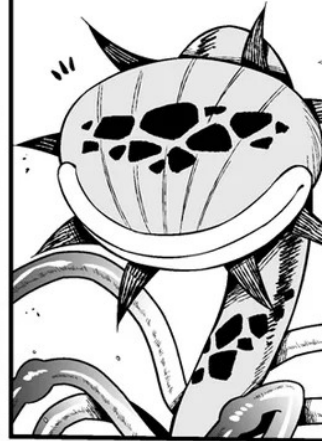
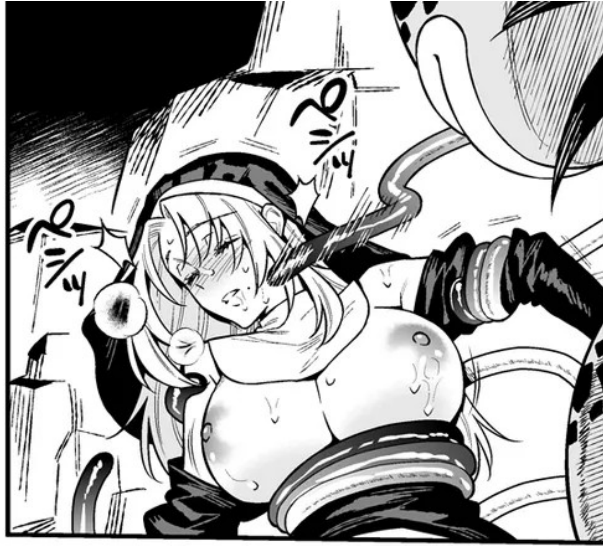
力が…

入らない…



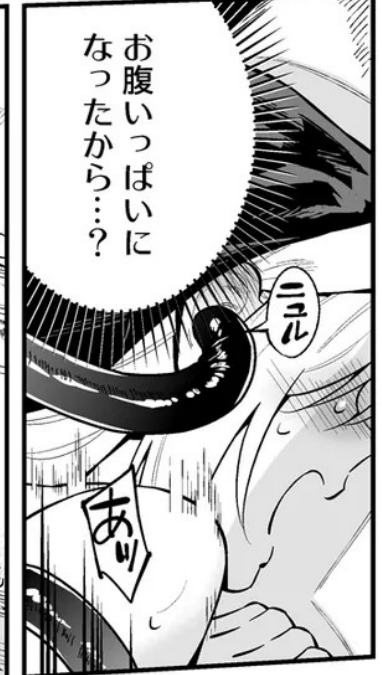
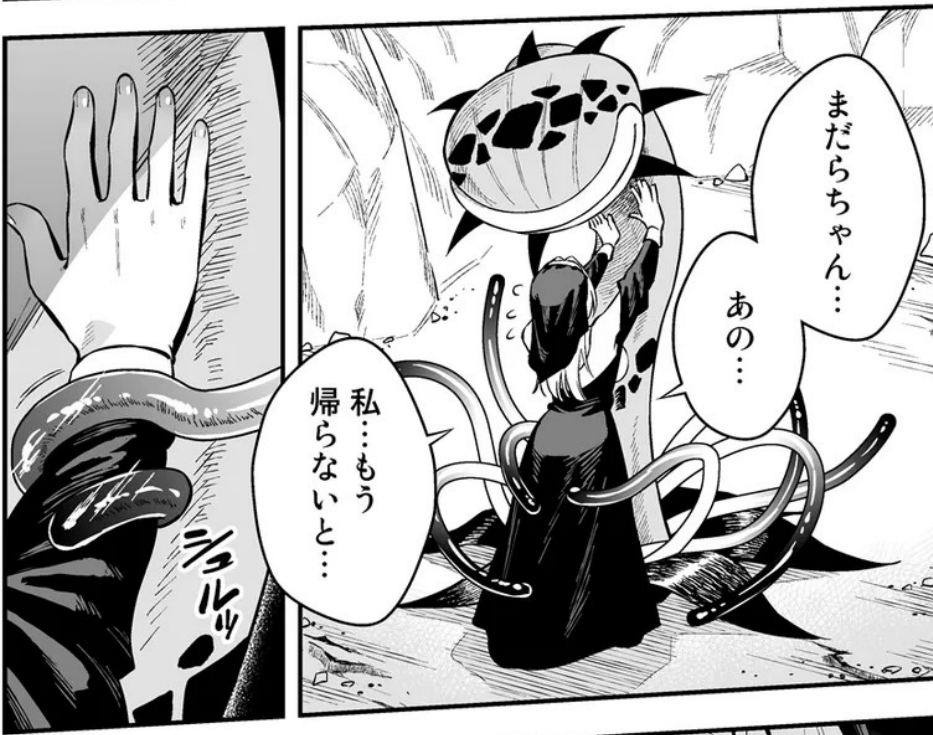
もう…

目も開けて  
いられないほど…

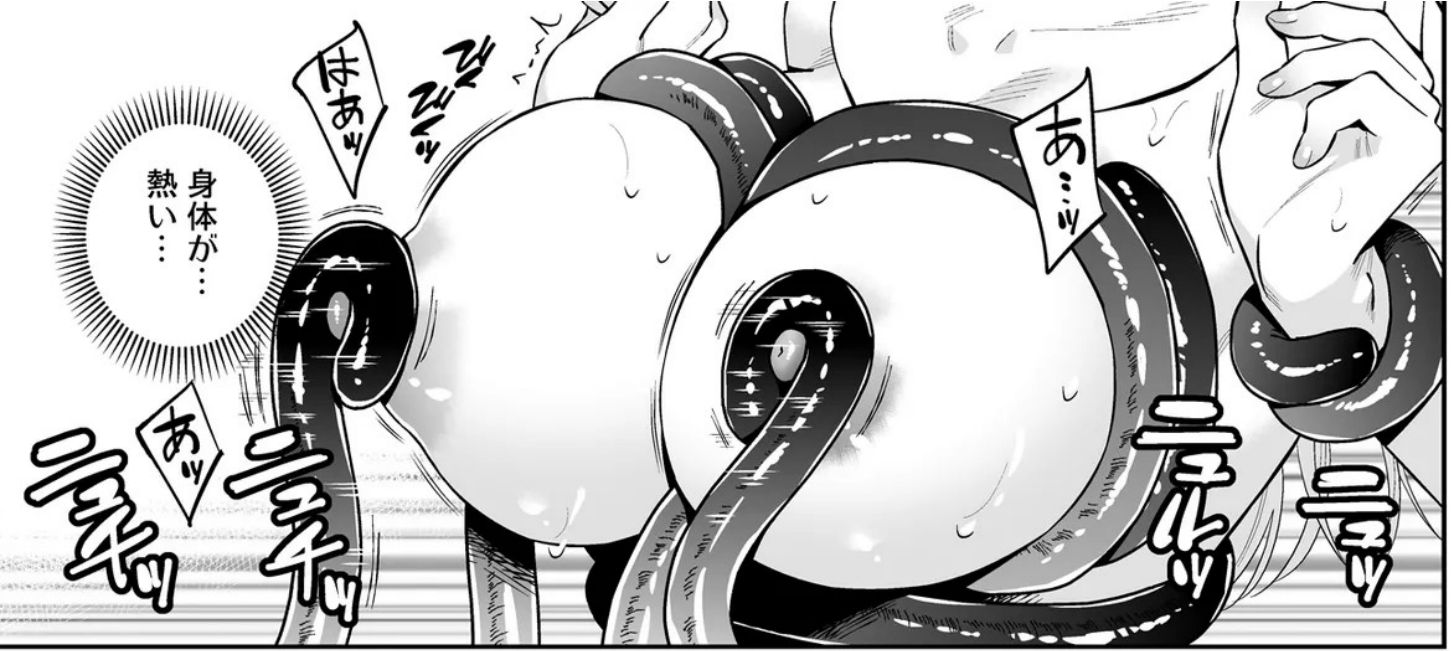












身体が…  
熱い…

あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



さっきまでは  
痛くて怖かった…

でも…  
今は…

はっ

はっ

はっ

はっ



まだらちゃんに  
触られるの…

嫌じゃない…

あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ





ア…ア…ア

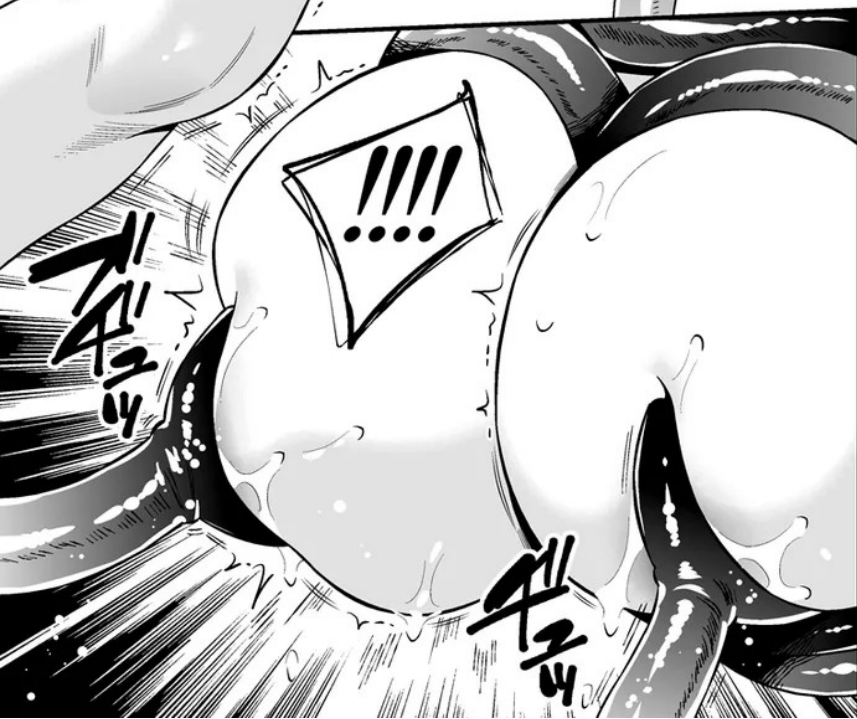
ア…ア…ア

ア…ア…ア

ア…ア…ア…ア…ア

ア…ア…ア

ア…ア…ア



!!!

ア…ア…ア



え…!?  
なぜ…!?

私の身体  
どうなって…



すっ…  
吸われてる…ッ

ああッ



私のお乳が…  
まだらちゃんに…ッ

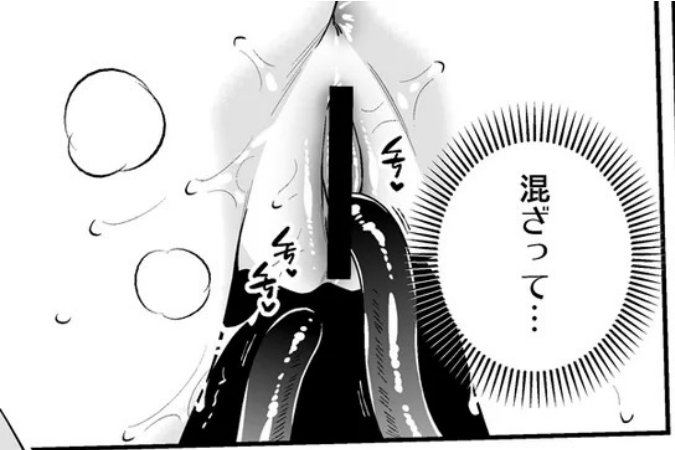
ッ…なに…  
この感覚…



私そのものが…  
流れ出ていく  
みたい…ッ

あ…ッ

グワッ…



私のお乳を飲んだ  
まだらちゃんは…

私の子  
なのでは…？

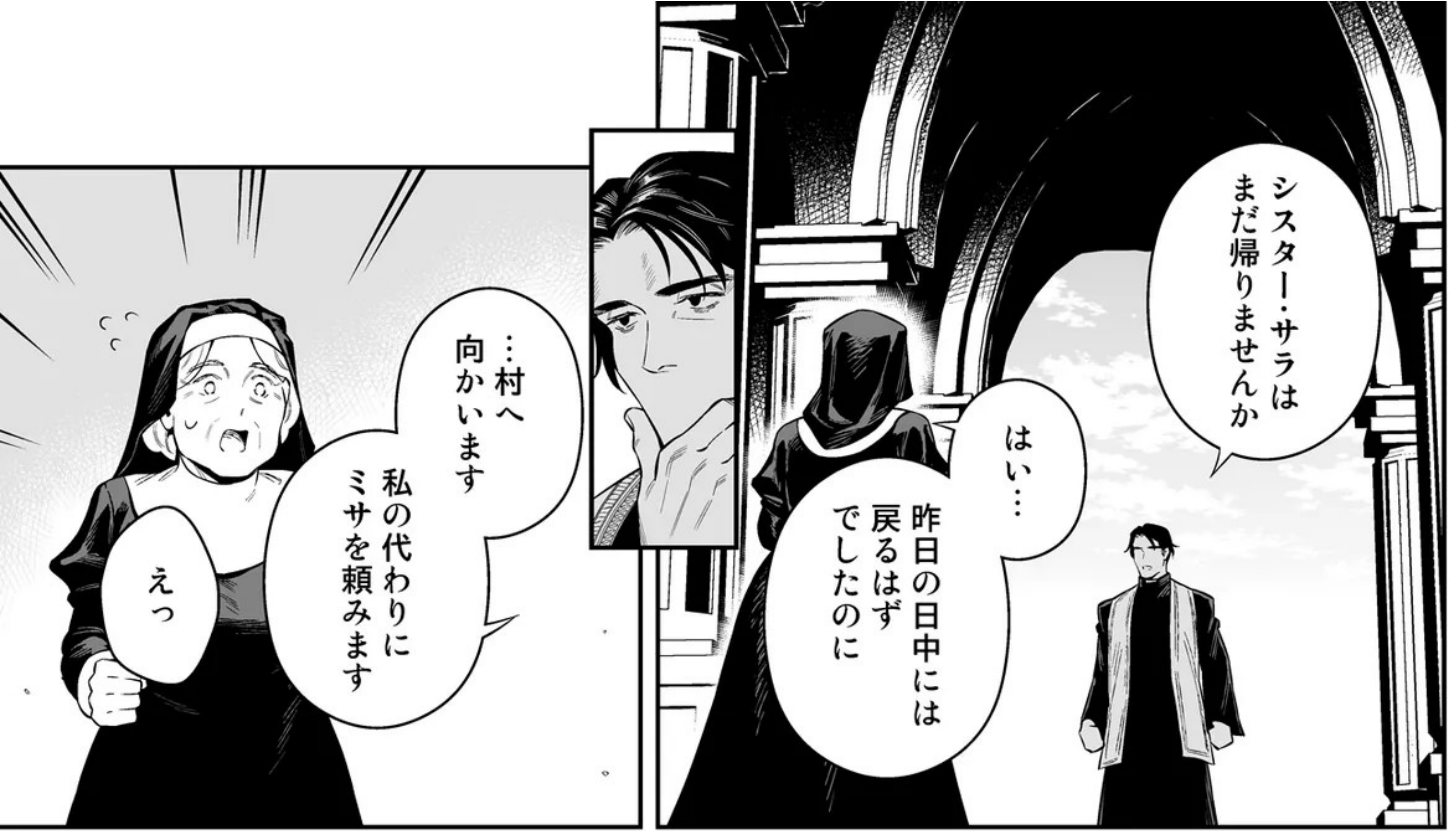
つまり…  
私は…

この子の母に  
なったのでは…？

これは  
姦淫などではなく

尊い愛の行為なのでは





シスター・サラは  
まだ帰りませんか

はい…

昨日の日中には  
戻るはず  
でしたのに

…村へ  
向かいます

私の代わりに  
ミサを頼みます

えっ



騎士

すまないが  
行先の変更を


神父様

今日は会合の  
ご予定じゃ…



そんなもの  
どうとでもなる



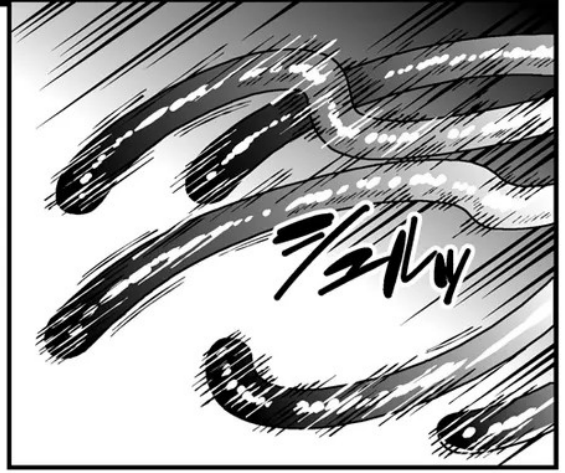


私の帰りを  
待っている  
人がいます

まだらちゃん  
…聞いて



心配しないで…  
お別れでは  
ありません



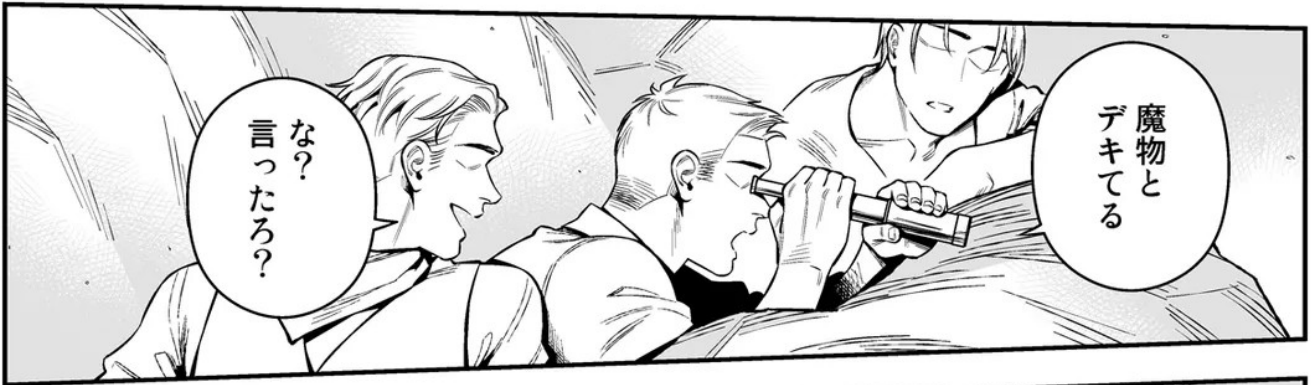
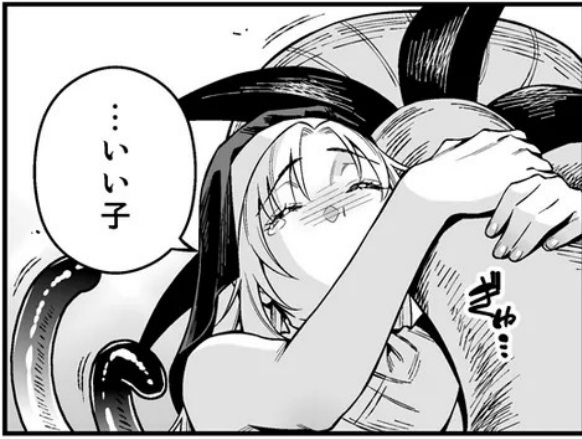
必ず  
迎えに来ます  
私たちが  
家族だもの

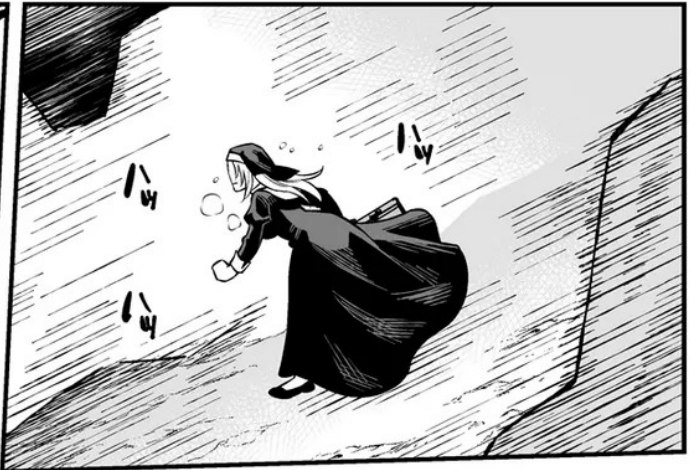
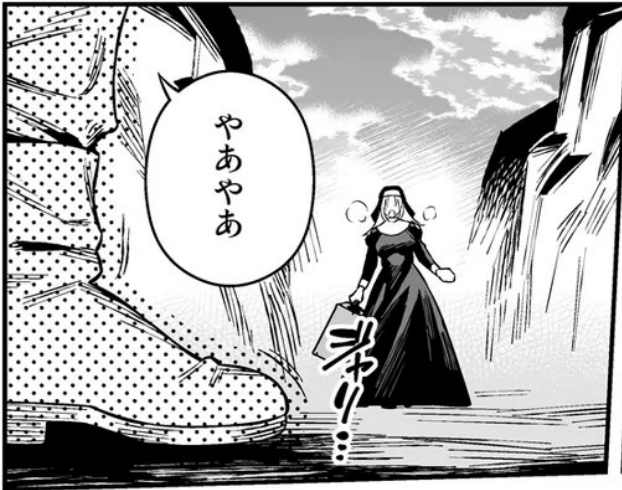


あなたが街で  
暮らせるよう  
相談してみます

私一人では  
難しくても…

知恵を募れば  
きっと…







そんな情報は  
初耳だ

ギルドは何を  
しているんです

い...  
いくつかの  
拠点を  
転々として

足取りが  
掴めないとかで...



村の皆も  
用心するように！



街へ  
引き返す

ギルドに  
直談判  
しなければ



おっ お金も  
貴重品も  
持ってません

どうか  
離してください

へ...  
分かって  
ねえな

アンタ自身が  
商品なんだよ



この身体なら  
もっと似合いの  
仕事があるぜ？

魔物なんかより  
人間相手に  
する方がいいだろ

!?

見られてた  
なんて…っ

いッ…

いや…あ…



お!?

なんだ…？

シスターのくせに  
母乳が出んのか

おいおい  
禁欲を説きながら  
ガキ作ってんのかよ

ちがいます…

もう…  
やめて…え…



うんま...  
母乳ってこんな  
甘かったか？

前馬車を  
襲った時に  
赤ん坊抱いた  
女がいたろ

あいつの母乳は  
もっと薄味だった



...なんて



なんて  
罪深い人たち



あれか  
ガキを人質にしたら  
大人しく股開いて  
最高だったな〜

母親ってのは  
子供のためなら  
なんでもするからな





ゴゴゴゴ...

なッ...!?

なんだ  
今のは!?



おふッ...!!!

ズルッ...



まだら  
ちゃんだ



ぐあッ...!!!

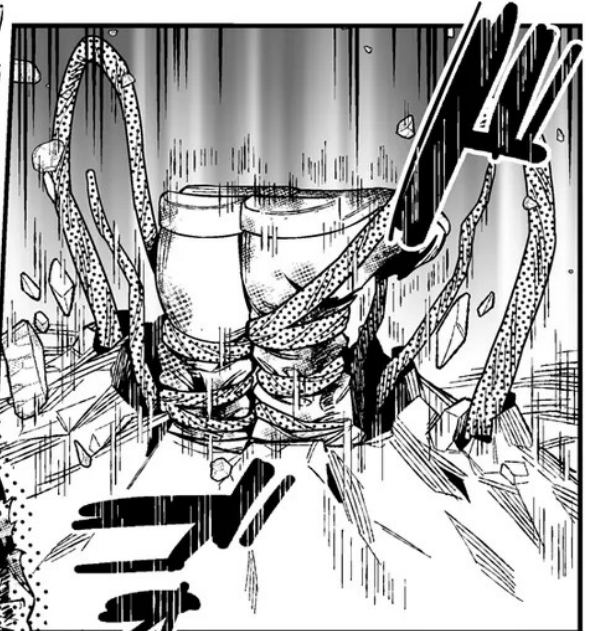


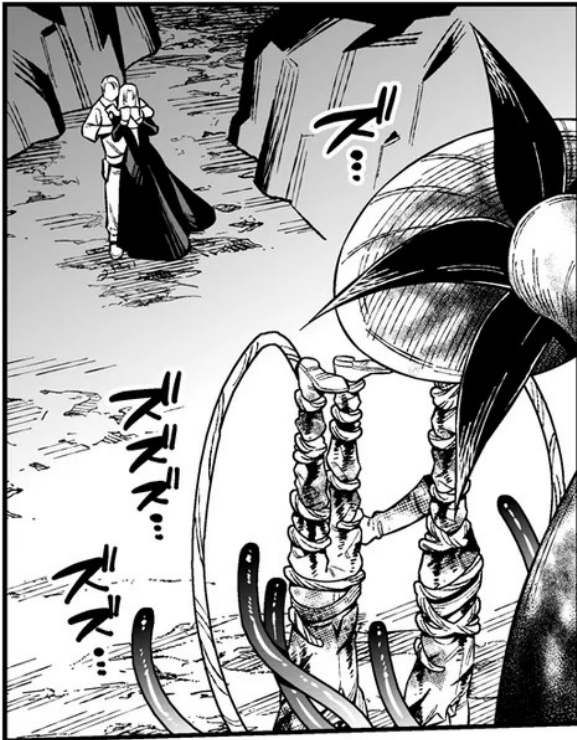
ばかッ  
大声を  
出すな...!

いッ...

てめえが  
指示してんのか!?

まさか  
さっきの魔物か?







人を傷つけるなんて簡単なことだったんだ

まだらちゃんがその気になれば





シユル

もういいの  
私なら  
大丈夫だから

お願い  
話を聞いて

これ以上  
人を殺めないで

シユル  
シユル  
シユル

まだらちゃん……!



ガ  
ニヤア

シユル



なんてこと…

もう…  
取り返しが…

か…神よ…  
どうかお赦しを…

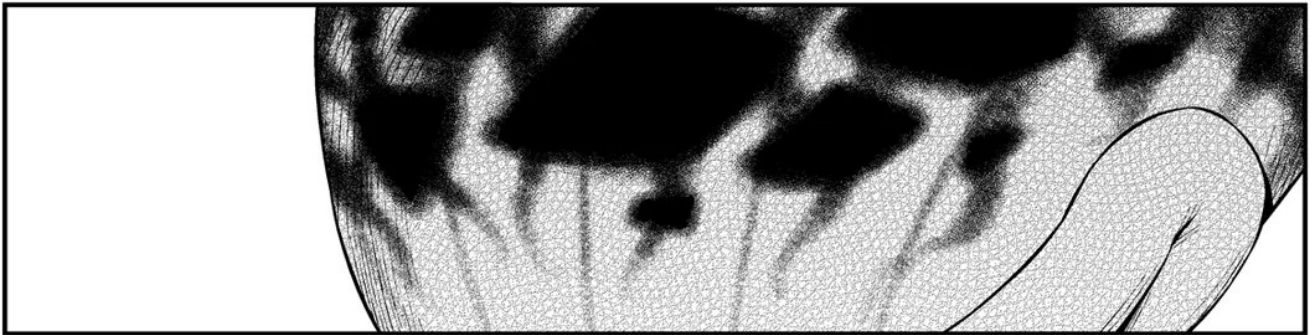


Waa…



あああ…

あ…



それに…

この子は外の  
世界を知らない  
子供だから…



………  
まだらちゃんは  
悪くない…

私を守ろうと  
しただけなもの

子供のしたことは  
親に責任がある

だから…



まだらちゃんには  
分からないかも知  
しれないけれど…

命を奪うことは  
とても重たい  
罪なの

あなたの  
家族として…  
母として…

私の命をもって  
あなたの罪を  
償いたい…

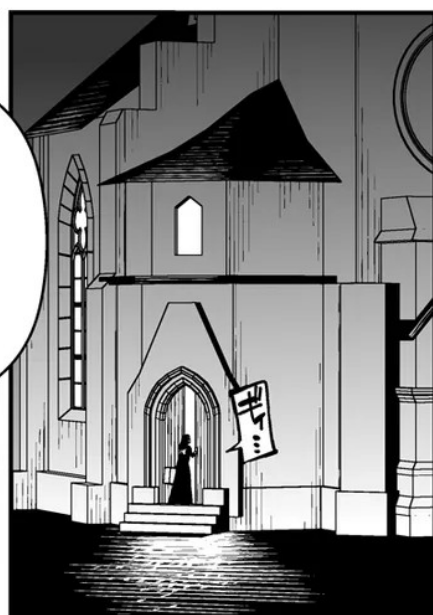
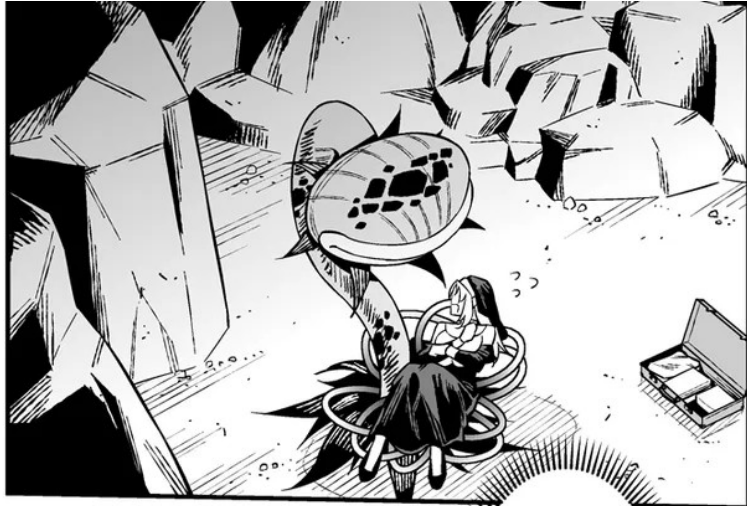


…  
まだらちゃん

私の全てを  
吸い尽くして

あの人たちに  
したように







おやすみ  
なさいませ  
神父様

……すみません  
疲れているので  
失礼します



申し訳  
ありません

その……

少し道に迷って  
しまいました……

隣村へは何度も  
行っているでしょう

……



眠れる  
わけがない



まだらちゃんに  
触れられたところが  
熱を持っているよう……



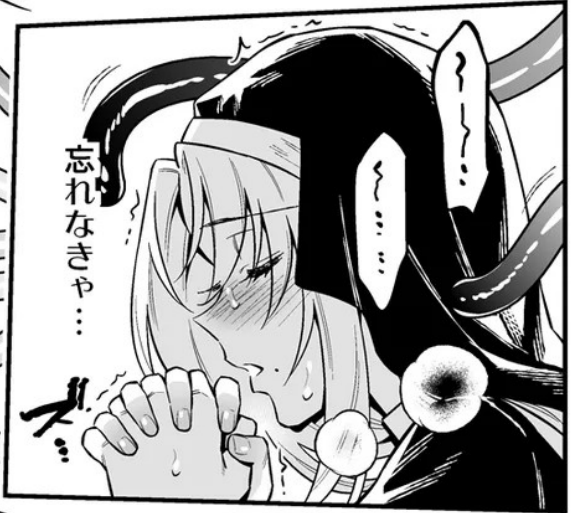
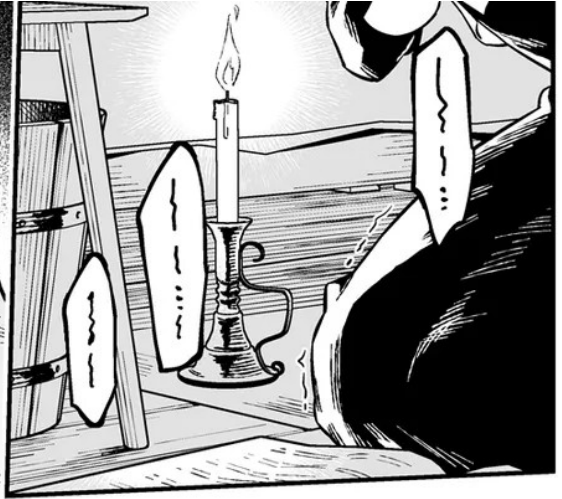
神よ……

どうか  
お救いください……



なんなのでしよう……

この体の疼きは……



忘れなきや...  
いけないの...  
忘れなきや...  
忘れなきや...

忘れなきや...

神父様!?

ここは  
女子寮なのに

部屋の明かりが  
見えました

まだ  
起きていますね?  
シスター・サラ

何か心に  
抱えているものが  
あるようですが...

よければ告解室で  
私にすべて  
話してみませんか

もちろん  
秘密は守ります

告解室...



なかなか寝付けないだけで…



…体が…その…  
火照ってしまった

急いで帰ってきたから…



いえ…  
そんな  
神父様にお話しするほどのことではありません



…そうですか



いい夢を  
シスター・サラ



落ちて着けるよう温かい飲み物を用意しました  
これだけでも受け取ってください

ア…



ここに居るのを  
誰かに見られたら

神父様でも  
咎められて  
しまうのに…



ギィ…

もういない…



…今日の

まだらちゃんとの  
“あれ”は



よほど心配させて  
しまったんですね…

…おいしい

甘くて  
とてもいい香り



姦淫

…そういうものでしょう…

神の教えにおいて  
姦淫は大罪です…

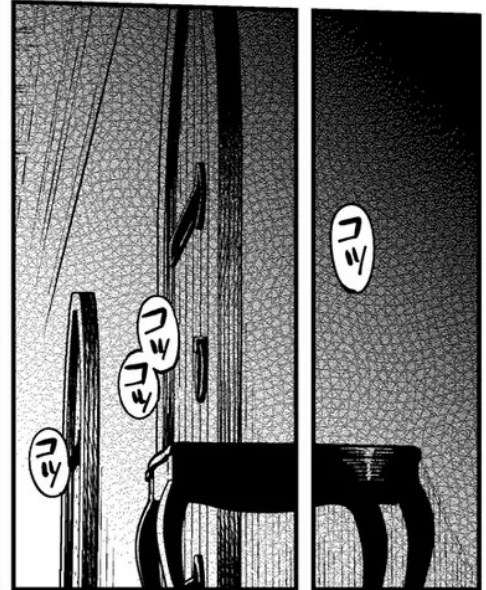
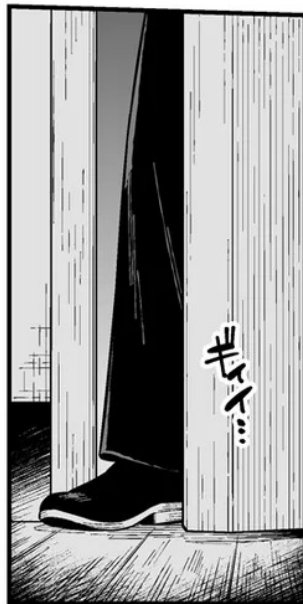
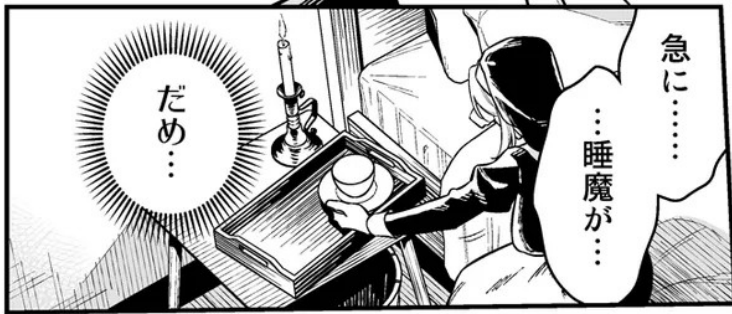
まだらちゃんが  
食事のつもり  
だったとしても…

私にとっては……

ワグン

ワグン

ワグン

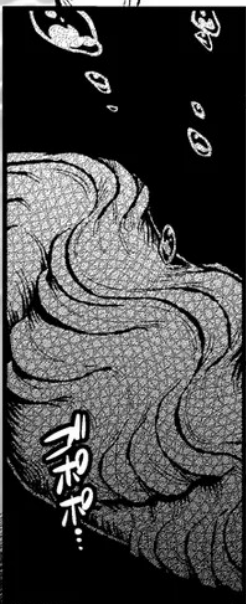




これから  
あなたの肉体に  
何が起きても  
意識まで  
届くことは  
ありません

あなたの意識は  
だんだんと  
落ちていき...

灰暗い水底の  
貝の中に  
囚われました





しかし  
神父として…  
また養父として

あなたの全てを  
把握しておきたい

サ…

サ…



…初めて私に  
嘘をつきましたね

サラ

あなたも  
大人になったという  
ことでしょうか…



隅々まで  
検<sup>もた</sup>めていきますよ



これは…

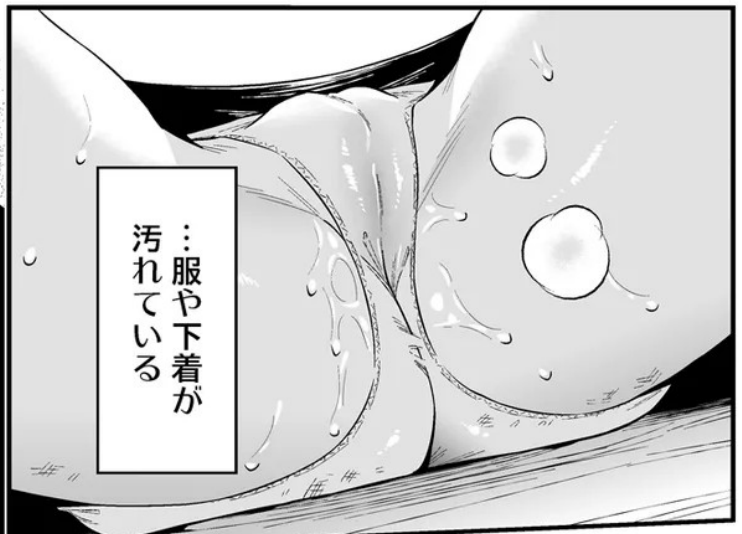
…!



暴漢に  
襲われたか…?

包み隠さず  
話してくれたら  
よかったのに…

やはり一人で  
行かせるべきでは  
なかった

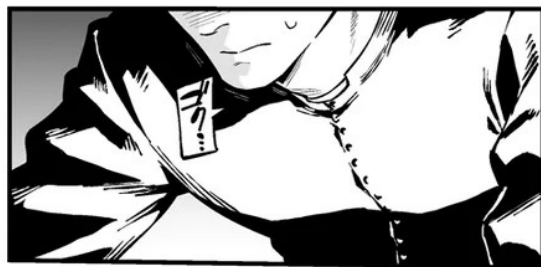


…服や下着が  
汚れている



体には  
擦り傷もある…



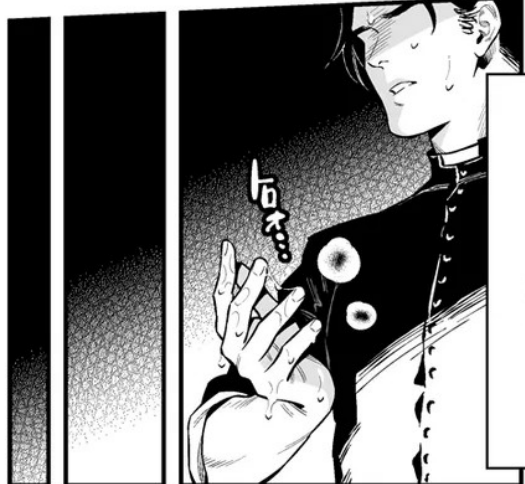


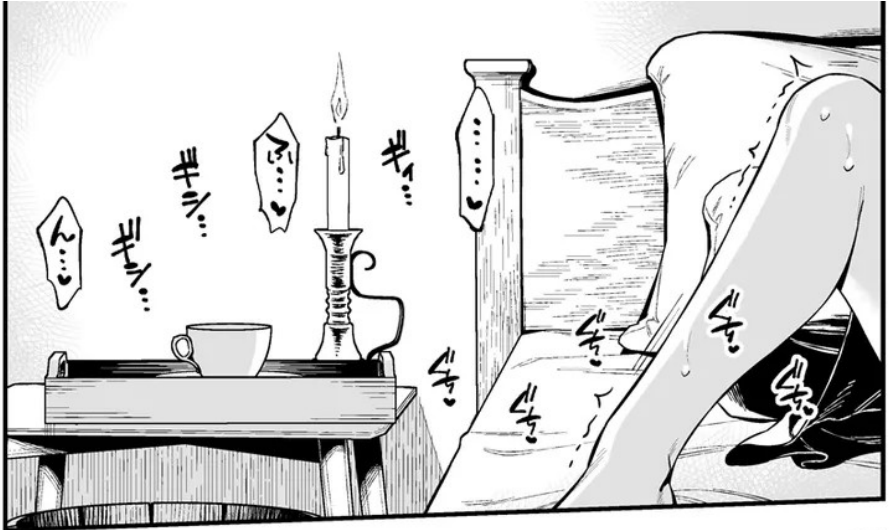




はっ  
はっ

…もう  
私の知っているサラは  
どこにもいない……









神よ…

どうして  
このような試練を  
与えるのですか



この身を  
切る思いも  
報われないのなら



本懐を遂げて  
しまおうか



いっそ  
聖職者である  
ことなど忘れて

ただの  
男と女になって



は……は

は……は……は……

は……は……

あ……あ……あ……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

だめだ……  
それだけは……

私まで外道に  
身を落としてしまう……

……いや……  
薬を盛ってまで  
姦淫してる私も

同じ穴の貉だ

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

は……は……

